tocoぷり

企業の評価手法の導入と効果の検証を

「今後研究する」

矢澤 青河（やざわ はるか） 議員

年度	平成26年12～3月	平成27年度	平成28年度	備考
決算	867万2400円	518万7240円	170万4240円	計1556万3880円
内訳	開発：810万4320円 保守：56万8080円	改修：348万3000円 保守：170万4240円	保守：170万4240円	全平成27年度の改修は定期国庫補助交付金
ダウンロード数	2,708件／4ヶ月	1,574件／年	1,390件／年	計5672件（市の総人口約1万人）
登録者数	706件／4ヶ月	311件／年	208件／年	計1225件（DL数の21.6%）
投稿（市と市民）	201件／4ヶ月	846件／年	704件／年	全体の投稿数（一日平均2件程度）
投稿（市民のみ）	60件／4ヶ月	318件／年	308件／年	市民の投稿数（一日平均1件弱）
投稿人数（市民）	21人／4ヶ月	83人／年	42人／年	実際に投稿した市民の人数
要望等対応数	10件／4ヶ月	40件／年	18件／年	市民の要望等に市が対応した件数

▲tocoぷりの実績とKPIツリー

議員 運用からもうすぐ3年。導入効果は。

政策秘書室長 毎月約百件ダウンロード。興味関心の結果と思う。

議員 一般的なアプリはダウンロード後、1週間で8割が使わなくなるという。企業では無料の解析ツールで継続率等を測り、※KPIツリーを作成している。企業の評価手法の導入と効果の検証を。また、評価やデータの公開と蓄積、ユーザーインターフェース等ご要望ボタンを導入できないか。

政策秘書室長 指標は視点によってさまざま。議員提案もその一つ。今後研究する。

いいとだマップの活用

議員 いいとだマップは少し利用しづらい。グーグルマイマップの活用で、スマホでの視認性向上、アプリの位置情報、各担当課HPでの埋め込み地図がコストをかけず可能となる。導入してはどうか。

総務部長 スマホ等での閲覧が容易であり、各担当課と調整を図りながら掲載を検討する。

その他の質問

Q アレルギー対策を。

A 母子保健等は既存事業の充実を図る。災害時は症状に合わせ個別対応。

Q 交通・不審者対策、総合防災訓練参加、地域で子供の安全を。

A 学校、保護者、地域と連携し安全確保に努める。子供の訓練参加は自助や共助の意識を高める上で必要。

一般質問

補助金適正化

交付基準の見直し 総合的な取り組みを

「全庁的な取り組み通じ実効性確保」

酒井 郁郎（さかい いくろう） 議員

つぶやき
まってます！

議員 補助金はその効果が曖昧である、既得権化しやすい、などの問題点が指摘されている。①交付先や金額等を公表し、透明化を②補助事業効果の検証、原則公募とする、基準に合わない補助金を原則廃止する等、交付基準の見直し、総合的な取り組みを。

財務部長 ①公表する内容や効果的な方法を検討する②基準の点検や厳密化、透明化、見直し状況の公表など、効果的な見直しを実施したい。庁内通知や研修を活用した全庁的な取り組みを通じて実効性を確保する。

人事・給与構造改革

議員 ①年功序列による弊害を解消し、責任に応じた処遇を得られ、頑張る職員が報われる給与制度へ②多くの職員が評価する「多面評価」や、適正な調整を行うことで納得性を高め、職員の成長やモチベーション向上につながる評価制度へ③災害等に備え、職員の市内居住を促進する制度へ。

総務部長 ①検討する②効果を調査する③手法を研究する。

その他の質問

Q SNSやチャットによる問い合わせ窓口を作っては。気軽に問い合わせできる上、職員も問い合わせ対応の負担が減らせる。

A 研究していく。

▲市役所窓口。市職員の日常業務の多くの時間が電話や窓口での問い合わせ対応に割かれる。

※KPIツリー……アプリの目標達成に必要な要素を施策として実行可能なところまで分解した指標の一覧。

交通安全対策

横断歩道、早急に改修を

「蕨警察署に要望していく」

土屋 英美子（つちや えみこ） 議員

議員 笹目電話局通り、医療保健センター入り口の横断歩道の路面標示が消えかかっている。改善を求める要望がある。早急に改修を。

市民生活部長 横断歩道の管理は警察の所管であるが、蕨警察署に早急に要望していく。

議員 信号機の設置、横断歩道をもう1カ所増やせないか。

市民生活部長 蕨警察署では、隣接する信号機との距離が短いため信号機設置は難しいとの見解。横断歩道は1カ所が適当との見解。

福祉センター使用料減免廃止の見直しを

議員 「受益者負担の見直し方針を検討する」懇話会で「減免はなくす」と一致。6月の説明会では「話もなく決めてひどい」等、多くの不満が出た。市民への十分な話し合いや説明がされたのか。

福祉部長 説明会、説明文書の送付、館内掲示、ホームページ等で知らせた。

議員 高齢者が楽しく元気にサークル活動をすることで、高齢者対策等総合的な観点から考えるべきではないか。

福祉部長 高齢者事業は変わらず実施する。施設利用においては、利用者からの公平な負担をお願いする。

議員 もう一度公平性の意味を考えて、幅広い世代が誰でも利用できるよう、減免廃止の見直しを求める。

▶消えている横断歩道（市民医療センター入り口）

ここがききたい

新曽中学校

生徒が増加するが教室不足の対応は

「31年度に校舎の増築を行う予定」

高橋 秀樹（たかはし ひでき） 議員

議員 新曽中学校は、生徒数が増加し、3年後には千人を超える状況にあり、教室不足になると思う。①生徒数の増加の状況と、教室不足の対応は②生徒数の増加や災害時の避難場所も考え、隣接する資材置き場の取得を考えてはどうか。

教育部長 ①生徒数は、平成32年度には983人の25クラスとなり、教室不足になる。41年には1286名で34クラスを想定している。平成31年度に、将来見込まれる生徒数に対応した校舎の増築を行う予定②土地の取得は現段階では考えていない。

▶新曽中学校

スポーツセンターの施設整備を

議員 ①スポーツセンターの第一競技場の床の早急な補修工事が必要②駐車場が60台も少なくなり、休日は満車で利用できないが、増設はできないか③既存プール棟は、大規模改修工事に合わせての実施では、9年間も利用できない。早期改修はできないか④下戸田地区にはスポーツ施設がなく、第2スポーツセンターの建設は考えられないか。

市民生活部長 ①第一競技場は、平成34年に床の全面張り替えを行う予定。本年末に破損箇所の修繕を行う②駐車場の増設は、立体駐車場も検討する。当面は、近隣の空き地の借用も含め検討する③既存プール棟は、平成31年度の基本計画策定の際に検討する④用地の確保、財政状況的にも厳しい。